



地域での孤立に気づき つながり 見守る人材

つながりワーカー養成講座の ご案内

「自分のできることが誰かの役に立つことがある！」

「自分のできないことが誰かにできることがある！」

共に地域で暮らし、何が必要か、やってみないとわからないことがあります

何ができるのか一歩を踏み出して、
できることの何かを共に探してみませんか

NPO 法人猪名川在宅ケアを考える会

日頃から地域活動に取り組む方も、これから取り組んでみようかなと思う
方も、支えあいのスキルを学び、さらに高め、地域の絆を深めましょう

開催日時と会場（各回とも同じ内容です）

2024年 7月 27日（土）10：00～12：00 猪名川町立日生公民館 総合室

9月 28日（土）10：00～12：00 ZOOM 方式によるオンライン

12月 21日（土）10：00～12：00 猪名川町立日生公民館 総合室

2025年 1月 25日（土）10：00～12：00 ZOOM 方式によるオンライン

申込先：NPO 法人猪名川在宅ケアを考える会（担当）米津

（TEL）072-74-6612 * 090-9710-9750 （mail）iina8zaitaku@gmail.com



この事業は、赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン「地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材（つながりワーカー）養成および実践 活動助成第5回」の採択事業です。猪名川町では二つの団体が採択されました。

講座の概要

中央共同募金会提供の教材を使います

1 研修動画（90分）

ルーテル学院大学 総合人間学部教授 福島喜代子氏監修・講師
NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター作成

地域での孤立に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成する研修

子ども、障がいのある人、高齢者、成人の幅広い人へのかかわり方を
わかりやすいイラストと講師の解説とともに具体的に学べます
複数の演習を通して、受講者が考えを分かち合って取り組み、講師の解説を聞くことができます

2 ワークブック（8ページ）

同 書名、同 監修者・講師、同 作成者による

研修の流れ・・・

- 1 教材のワークブックと、研修動画（90分）の視聴により学びます
- 2 動画により、講師の講義を聞いて、複数回の演習にとりくみ、受講者どおしの考えをわかちあい、講師の解説を聞いて理解を深めます。
- 3 受講終了時間に、全国コミュニティライフサポートセンター認定の修了証をお渡しします
研修後の実践活動費への助成があります。担当者までご相談ください。

研修の内容

本研修では、地域で孤立している人・孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成することを目的に4つの演習を通して学びます。

各項目の演習ごとに講師の講義の後、小グループに分かれて演習に取り組み、そのあと、講師の解説を聞きます。

演習①【気づく】 幼児の場合、成人の場合、高齢者の場合

演習②【つながる】 気になる親子、気になる成人の子供と高齢の親のお宅、気になる一人暮らしの高齢者 夫々の場面で望ましい声掛け

演習③【つなげる】 どんな時に専門職につなげるか、その時の配慮、ポイントなど事例を通して整理します

演習④【見守る】 地域の中でゆるやかに見守るスキルを事例から学びます

研修の後に

誰もが地域の中で自分らしい生活を最期まで送るためには、制度やサービスだけでは不十分です。地域で気かけ合い、見守り合い、排除や差別をしない地域づくりが、安心・安全なまちづくりにつながります。

私たちの地域にも、共に地域で暮らし続けるために活躍するボランティアが、たくさんおられます。例えば、民生・児童委員、福祉委員、有償ボランティア、自治会など各種地縁団体役員、サロンの主催者・サポーターなど。

この研修を終えることにより、既に地域活動に取り組んでいる方々は、更にスキルアップして、または、何かを初めてみようと思う方も一步を踏み出して、どこかに参加し、つながりあえる地域のための活動に取り組むことができるでしょう。

* 専門職につなぐとぎのために

諸制度、猪名川町の専門機関や、各種サービス事業所などを整理しておきましょう。

* 参考資料

日本に住む人の約40%が孤独を感じることがあります

(内閣官房 孤独・孤立対策担当室 令和5年度調査)

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/index.html

内閣府の取り組み

令和6年4月1日 **孤独・孤立対策推進法**施行。施行に伴い、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設置

5月を「孤独・孤立対策強化月間」とし、孤独・孤立についての理解・意識や対策の機運を社会全体で高めるために、孤独・孤立に関する情報提供や啓発活動などに集中的に取り組むものとしています。

■ 5月は「孤立・孤独対策強化月間」もう、ひとりで悩まない、みんなで支えあう社会へ



5月は、「孤独・孤立対策強化月間」です <https://www.notalone-cas.go.jp/category/monthly/>

赤い羽根共同募金会の取り組み

平成25年から「地域から孤立をなくそう」を全国共通の助成テーマとしており、これを包含する形で「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」のテーマ設定がなされています。

令和4年から、「赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」を展開し、地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材（つながりワーカー）を地域に増やしていくことを目的として、地域のボランティア団体・NPO、地区社協や地縁組織等、地域に根ざした各種団体が実施する、つながりワーカーを養成する講座・研修の開催と、その実践として地域での孤立に気づき、つながり、見守る活動（地域でのサロン・見守り活動・相談支援等の活動）に対して助成を行っています。

赤い羽根共同募金



<https://www.akaihane.or.jp/>

NPO 法人猪名川在宅ケアを考える会の取り組み

私たちが目指すもの

やがて誰にでも訪れる、できないが増えるとき、

仲間とともに、老いてゆくことの豊かさ、不思議さ、自由さ、そして自分らしさを見つけることができれば、そのときをどれほど心地よく過ごせるかはかり知れません

私たちは、それぞれにできることを持ち寄って、一人一人のその人らしさを支えあう地域のよりどころとなることを目指します



有償ボランティアによる訪問助け合い活動

誰にでも訪れる今までできていたことができなくなる時、その人らしい暮らしを続けられるよう、その人にできることを補完してお支えています

サービスを利用する方と、この活動に参加していただけるボランティアをつなぎます

在宅ケアの集い

地域で活躍される方々に、シニアの暮らしにかかわるテーマで話題を提供いただき、参加者との語りから、地域を知り、支え合う地域の在り方を探ることとしています

在宅ケアの相談

地域活動で経験を重ねた、社会福祉士・介護福祉士・民生委員・諸団体のサポーターなどが、高齢者等、ご本人やご家族の抱える様々な悩みを伺い、より良い具体策をご一緒に考えます。

例えば、ご近所の高齢者が心配、自身が介護の必要性を感じる時、家族介護の困難さ、ダブルケアの困難さ

さらに、在宅療養支援、在宅リハビリテーション、在宅での栄養管理、認知症ケア、終末期の在宅ケア、入院中の意思決定支援、医療者に療養者・家族の意向をくみ取ってもらうためのスキル

あるいは、地域のためにこんなことを役立てたい・・・
等等。

または、必要なときは、各種専門機関等の窓口をご一緒に探しましょう。

例えば、町役場の窓口、社会福祉協議会の窓口、地域包括支援センターや福祉サービス事業所、ボランティア団体（有償・無償）、他地域活動団体等

お問い合わせは

NPO 法人猪名川在宅ケアを考える会 事務局（担当） 米津まで

(TEL)072-741-6612 * 090-9710-9750 (mail) iina8zaitaku@gmail.com



<https://inagawa-zaitaku-care.net>